

# 迎春

亥の年は行動の年。  
今年も絆を大切に率先実行。頑張りましょう。



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井義久

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで良き年をお迎えの事と存じます。

ボイドRI会長の「率先しよう」にはじまる今年度の方針をうけて、地区テーマを「絆」とし東奔西走の日々、96クラブへの公式訪問も京都洛中ロータリークラブでフィナーレをむかえました。各クラブの皆様方には、大変あたたかくお出迎えいただき、多くの意見交換をさせていただき、有意義な時間を共有できました。ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

各クラブの熱い奉仕の現場に触れ、歴代会長、幹事、そして会員の皆さんの和と力によって数々の立派な業績を残され、今日に至っておられるクラブが当2650地区にはたくさんございます。私はこのことを大きな誇りとし、さらにロータリアンとしての品格を磨きながら、絆を深め、率先して実行してゆこう。私達は地球村のリーダーです、とお話してまいりました。

しかしながら、私達の奉仕活動フィールドである現実社会では、まだまだ厳しいことが多々ございます。世界を見渡してみますと、テロリストによる破壊や流血の惨事が日常的にございまして、キナ臭い話も後をたちません。国際ロータリーが希求する世界の恒久平和は、はるか遠く感じるものです。また、身近なニュースでは命にかかわる事件が多発しています。親が子を、子が親を殺め、また自ら命を絶つ、このような命を軽視した連鎖に心を痛めるばかりです。

私はガバナー就任以来、家族の絆、友人との絆、地域社会の人々との絆の大切さを訴えて参りました。そして、予想もしなかった昨今のいたましい出来事に、あらためて人と人の絆の大切さを痛感している次第です。来る3月31日、4月1日の地区大会では、藤原正彦氏による記念講演「国家の品格」を拝聴し、又、新世代とも触れあいながら、未来を模索してまいりたいと考えております。多くの会員のご参加をお待ちしています。

ロータリークラブは、単なる奉仕団体ではなく、自己を磨き、個々が社会の為、世界の為に、職業に邁進し、奉仕をする人々の集まりであります。各地域の知恵や工夫を活かし、地域の活性化と共に、一層の奉仕活動の活性化の実現に努めていただきますようお願い申し上げます。本年が皆さま一人ひとりにとって実り多い素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2007年1月1日



平井ガバナーを支えるスタッフとして、今年も地区大会を目指し頑張ります。